

医療連携だより

ごあいさつ

院長 菊池 淳



昨年（2020年）はコロナによって特別の年になってしまいました。コロナ対策に明け暮れて、当圏域に関して言えば結果的にはうまく対応できていたようにも見えますが、年が明けて2021年になってワクチン接種が始まり、その対応に追われている中で、現在（4月上旬）第四波ともいべきコロナの大波がついに当圏域にも押し寄せてきました。

感染症は今後も人類の前に脅威となって立ちふさがらざるを得ないと考えられていますが、今まさにわれわれが感染症と今後どう戦っていくのかを試されているともいえるのではないのでしょうか。このような災害とも言える感染症に率先して対応することは地域医療を担うべき公立病院として当然の役割と考えています。地域医療が安全に効率よく行われるためにはまず感染症が上手くコントロールされなければならないからです。我々はいま目の前にあるコロナという脅威に対して正しい共通の認識と迅速で適切な対処法を形成していかなければなりません。人と人との接触を介して広がる感染症を打破するためには、人と人（あるいは病院と病院との間）の意思疎通がスムーズにいくような医療連携が有効であろうというのも皮肉な話です。この情勢下では、最近普通的手段となってきたリモート会議は今後も定着してくことになりそうです。

また、ワクチン接種事業もこれまで経験したことのない大規模のものであり、地域としてのまとまりがその成功の鍵になると考えられます。まずは対コロナ戦略の面から、地域としての医療連携をますます深めていきたいと考えていますので今後とも宜しく願い申し上げます。

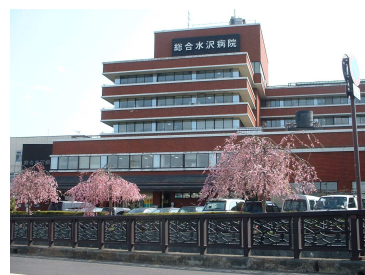


《奥州市総合水沢病院基本理念》

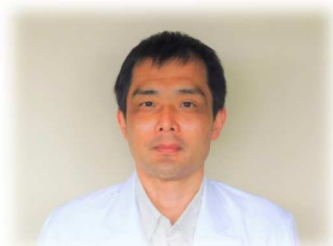
「市民に身近な医療を提供する病院」「健全を基盤に活力のある病院」

【方針】 「市民と職員との心の通い合う医療を目指して」

1. 患者様最優先の医療サービスを志します
2. 市民の健康を増進する医療サービスに努めます
3. 最善かつ負担の少ない医療を提供します
4. 医療水準の向上に努め、安心安全を提供します
5. 地域の各医療・保健・福祉機関等と連携します



着任医師紹介



むらさわ てつや
外科 村澤 哲也

はじめまして。令和3年4月1日より、奥州市総合水沢病院で勤務することとなりました、外科医師の村澤哲也と申します。

私は東海大学医学部在学中に奥州市医師養成奨学金をお借りしていた経緯から、こちらの病院でお世話になることとなりました。私の出身は三重県津市であり、海沿いにある温暖な気候の土地です。医学部は関東地方の大学であり、医師としての研修は奈良県や京都府といった関西地方であったため、東北地方には馴染みがありません。

誰も知り合いがない土地であり、かつ新しい赴任先での勤務でもあり、毎日不慣れな事の連続です。そのため、皆様にご迷惑をおかけすることが多々あるかと思われませんが、いろいろとご指導いただけましたら幸いです。

ご縁により赴任した地域での皆様との新しい出会いに感謝しつつ、少しでも地域医療のお役に立てるよう努力していきますので、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。



ふじまき だいすけ
内科 藤巻 大亮

今年から奥州市総合水沢病院に勤務することとなりました藤巻大亮です。簡単ではありますが自己紹介させていただきます。

出身は岩手県陸前高田市で盛岡第一高校卒業、その後自治医科大学に入学いたしました。

大学を卒業後は岩手県立釜石病院で2年間の研修後、自治医科大学卒業生の義務として宮古、葛巻、久慈、大船渡などの医療機関で勤務しておりました。

内科、小児科として勤務しておりました。全体としては小児科での勤務年数が多くなっておりませんが、一般内科としても奥州市の地域医療に貢献できるよう努めてまいりたいと思います。

新型コロナウイルスの影響もあり大変な時期ですが、スタッフと協力してより良い医療を提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

～ 診療予定は、ホームページをご覧ください ～

退任医師紹介

整形外科長兼リハビリテーション技術科長	藤澤 博一
内科医師	佐々木 裕

お世話になりました。ありがとうございました。

「冠動脈CT標準化プロジェクト」参画による

冠動脈CT検査のリスタート

医療技術部 放射線科 主任診療放射線技師 高橋伸光

近年、狭心症などを診断するための冠動脈CTは、CTの多列化と高速化に伴い、多くの施設で広く行われるようになりました。しかし、その精度や画像の質は区々で、診断に適さない画像があるのも事実です。そこで、前処置、撮影、解析法を統一し最良の結果を安定して得るために、岩手医科大学放射線医学講座、岩手医科大学附属病院ほか5医療機関、キャノンメディカルシステムズ株式会社と共同で冠動脈CT標準化プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトを通じ、当院の撮影プロトコルを刷新し、現在、岩手医科大学と同質の検査が受けられるように努めています。

当院では以下のアドバンテージを活かして質の高い冠動脈CT画像を提供します。

- ①県内3台のみの最上位機種320列CT装置で撮影します。1心拍で撮影が可能で、心拍による冠動脈像のズレが抑えられます。
- ②300例以上経験したX線CT認定技師が主担当となり撮影と解析を行います。冠動脈CTは撮影のみならず、3D画像解析の精度と質も検査の結果に影響します。
- ③心拍出量の影響を考慮した造影法を採用しています。造影効果は心拍出量の影響を受けるため、ばらつきを生じますが、当院で採用している手法では安定した造影効果が得られます。
- ④岩手医大放射線医学講座の医師を中心にオンラインでワークショップを開催し、精度の担保に努めています。

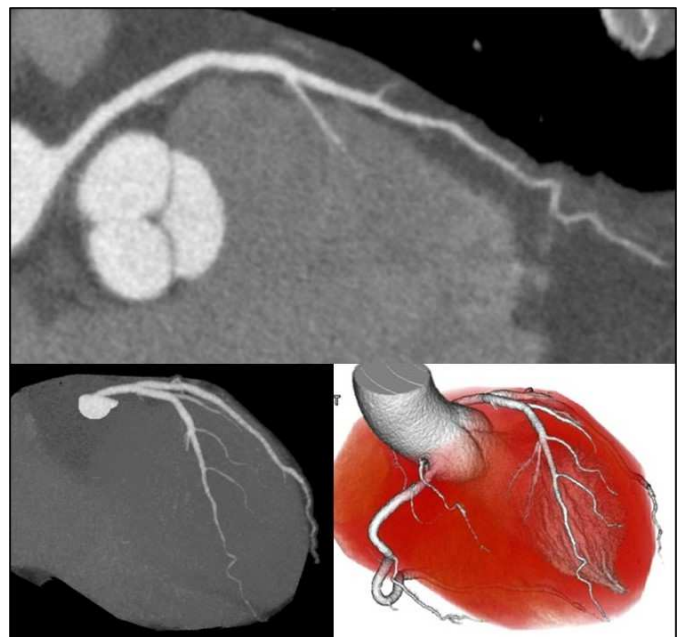
この検査は心拍をコントロールし、低心拍の状態での撮影することがポイントです。

来院後のβ遮断薬の内服のほか、飲水、BGM、医療接遇などにも気を配ることで最良の結果を導きます。

右の画像は安定した心拍で検査を施行した正常例の画像です。

“盛岡まで通わなくても近くの水沢病院で早く、同質の検査ができる”。地域の患者さん、先生方にはそんなアドバンテージを感じていただけたと思います。

但し、呼吸停止が困難な方、造影剤アレルギーがある方などは検査ができません。また高度石灰化を有する方はアーチファクトの影響で精度が担保できない可能性があります。それぞれの症例についてはご相談ください。



障がいのあるお子さまのリハビリをご検討の方へ
「訪問看護ステーションきらり」のご案内



「水沢病院訪問看護ステーションきらり」では、障がいのあるお子さまに対し、看護師による看護サービスと共に、リハビリスタッフが訪問し、療育指導を行っております。リハビリスタッフは、お子さまの持つ力と笑顔を引き出すためのお手伝いを致します。

お子さま、保護者様、病院や学校等関連施設とコミュニケーションを深め、お子さまの発達を促すために必要なことを検討し、具体的に提案していきます。よろしく願いいたします。

看護師、事務員



理学療法士



●おねがい

- 当院へ患者様をご紹介いただく際は、患者様がスムーズに診療を受けていただくことができるよう、FAXによる診療申込でのご予約をお願いいたします。
- 当日の患者紹介につきましては、直接診療科の医師に電話でご連絡いただいた後に、診療申込書、診療情報提供書等をFAXにてお送りいただきますようお願いいたします。

奥州市総合水沢病院 医療連携室

〒023-0053

岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地

電話 0197-25-3833 (代表/内線257)

FAX 0197-25-4012 (医療連携室直通)

URL <http://www.mizhsp-iwate.jp>



国道397号線の桜並木